

令和5年(2023年)12月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2023年12月 数 量 (トン)	2023年12月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	神奈川県産、千葉県産中心の入荷でした。気温が高い影響で生育が全身し、数量はやや増加しました。平均単価もやや高く推移しました。	760	75	109%	103%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。生育時期の高温の影響により、数量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	903	48	88%	109%
3		きゅうり	宮崎県産、高知県産中心の入荷でした。数量はやや減少しました。平均単価は低く推移しました。	211	443	95%	89%
4		ね ぎ	埼玉県産、茨城県産中心の入荷でした。生育期の高温の影響により、数量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	173	436	89%	115%
5		馬鈴薯	北海道産中心の入荷でした。平均単価はやや安く推移しました。数量は減少しました。	402	110	94%	95%
6	果 実	みかん類	数量はかなり減少しましたが、今年はみかん全般に糖度が高く、平均単価はやや高く推移しました。	1,212	320	76%	109%
7		りんご類	数量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	194	395	60%	136%
8		いちご類	各県産とも入荷が順調で、数量はやや増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	78	2,472	107%	106%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上